

補導員の手記

みんながいるから大丈夫

「夜はずっと、弟と2人だけで家にいるよ。」
 当時はまだ小学校高学年だった男児A君の言葉です。
 このA君との出会いが、虐待を受けていることも、我が子の非行に苦悩する保護者など岐路に立たされている方に、警察や児童相談所等へ助けを求め支援を受けて欲しいと強く感じた出来事でした。

当時、私が勤務する警察署に、夜中、間もなく小学生になる幼い男児が路上で独り大声を上げて泣いているとの110番通報がありました。

早速、警察官が保護しましたが、男児は泣きじゃくるばかりで住所も名前も言えません。手掛かりがないまま時間だけが過ぎた頃、小学生の男児A君と外国人の母親が来署しました。

A君は保護された男児の兄でした。離婚により母親と弟、日本人の父親とA君が近くで各々生活するも、母親の仕事のため、夜通し弟を父親宅に預けているとのことでした。

しかし、工場勤務の父親も夜勤があり、A君は独りで市販の弁当を幼い弟に食べさせ、添い寝し就寝させてから、自分も眠る生活をしていました。警察署に保護された日は、たまたま目を覚ました弟が家を出てしまったのです。その上、警察署で日本語が分からない母親のため弟が通訳しA君が書類作成の手引きもしていました。

生活安全部少年女性安全対策課
 県北少年サポートセンター
 主任少年警察補導員



安田 睦美

私はいても立ってもいられず、後日、A君宅を訪れました。置かれている惨状を目の当たりにし、絶句しました。A君はゴミが山積し、雨漏りのため床が抜け落ちた部屋で、野良猫が産んだ数匹の子猫と土足のまま、父親の帰りを待つ生活をしていました。

厳しい状況下にあるA君の心情を知り、少しでも悩みを軽減したいとの思いから、中学校最終学年まで、下校中のA君との雑談から役場などと連携した支援に至るまで様々な指導を重ねました。

その間、大好きな弟と母親の帰国、A君の登校渋り、私が家庭訪問するもA君に居留守をされ落胆するなど紆余曲折がありました。

しかし、しばらくして中学校を訪れると、A君は勉強に部活に励んでいると聞き大変に安堵しました。学校や役場をはじめとする様々な支援がA君の心に響いたのだと確信する一方、私はどのくらいA君の心情に寄り添えたのだろうかとの思いも頭をよぎりました。

A君に指導することはもうないと思い、中学校を後にしようとした時、偶然、A君に出くわしました。生活はどうか尋ねたところ、かつて弟と2人だけだと話していたA君は、学校や警察、役場など多くの温かな支援を知り、最後に満面の笑みでこう言いました。

「みんながいるから大丈夫。毎日楽しいです。」

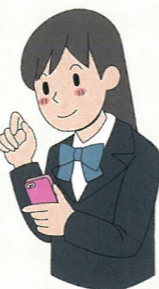
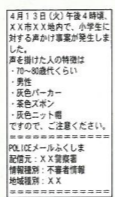
福島県警察からのお知らせ

登録者募集中

POLICEメールふくしま

警察から直接あなたに安全安心情報を届けます

- 犯罪発生情報・防犯情報
なりすまし詐欺、不審者、盗難情報など
- 交通安全情報
交通規制、交通取締情報などを含む
- 警察からのお知らせ



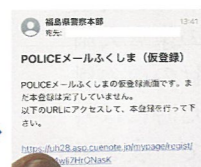
詳しくは福島県警察ホームページをご覧ください

登録方法

① QRコードを読み取りメール送信



② 自動送信されたメールのURLをクリック



③ 登録フォームで希望する情報に☑



登録完了



発行
 公益社団法人福島県防犯協会連合会
 福島市舟場町2番1号
 福島県庁舟場町分館3F
 ☎024-573-0699
 〆024-573-2833
<https://www.bouhanfukushima.com>
 印刷 (株)民報印刷

みんなでつくるう 安心の街

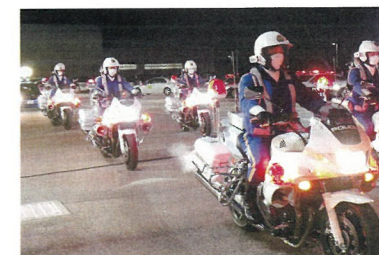


年末年始の事件・事故を防止し
 明るい新年を迎えましょう!



年末年始の地域安全活動期間：令和5年12月10日㊤～令和6年1月7日㊤

年末年始は、金融機関、コンビニ等を狙った強盗事件やひったくり、車上ねらい等の街頭犯罪の多発が懸念されます。また、子ども・女性や高齢者が被害となる事件等の発生も多く見られます。このようなことから、県警察、県防犯協会連合会、各地区防犯協会、防犯ボランティア等の関係機関・団体、地域の皆様の参加による地域安全活動を展開し、事件・事故のない住みよい福島県の実現を図ろうとするものです。
 県民の皆様のご協力をお願いいたします。



年末警戒パトロール (令和4年)

令和5年全国地域安全運動福島県民大会

本年の全国地域安全運動は、10月11日(水)から10月20日(金)まで実施され、犯罪のない安全で安心して暮らせる福島県の実現に向けて、県内各地区で広報活動等の各種活動が展開されました。10月18日(水)には、郡山市立中央公民館において、福島県民大会を開催し、防犯功労者等に対する表彰が行われました。



令和5年全国防犯功労者・防犯功労団体表彰

【令和5年9月28日(木) 東京：明治記念館】

本年の全国防犯功労者・防犯功労団体に、大玉村大山防犯協力会(会長：伊藤一男氏)をはじめ、次の方々が受章されました。

長年のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。

防犯功労者 (9名) (敬称略)

- <防犯荣誉金章>
 - 片倉清孝(地域安全サポーター「都路すずらん隊」顧問)
- <防犯荣誉銀章>
 - 櫻村勝司(いわき南地区防犯協会連合会顧問)
 - 片平秀雄(桑折地区防犯指導隊顧問)
- <防犯荣誉銅章>
 - 三戸進(植田地区防犯協会会長)
 - 溝井辰美(川東駐在所防犯連絡所連絡会副会長)
 - 大竹功一(白河地区防犯指導隊長)
 - 渡部東(荒海防犯協会会長)
 - 寺田博明(常磐防犯協会直前会長)
 - 佐藤正喜(柳津町子ども見守り隊代表)

防犯功労団体 (敬称略)

- 大玉村大山防犯協力会(会長：伊藤一男氏)



警察本部長に対する 受賞報告



伊藤一男氏

各地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介

伊達市防犯協会大田支部（伊達市）



当支部は、70年の長きにわたり各種団体より推薦をいただいた30名の役員で、地域の方々のふれあいを中心に、青パトによる啓発活動、青少年非行防止夏季巡回、フルーツパトロール等の活動を実施しております。今後も大田地区の「安全・安心な街づくり」の為に、役員一同防犯啓発活動に取り組んでいきます。

富久山地区防犯協会（郡山市）



富久山地区防犯協会は、地元の町内会長や地区長等が役員として活動しています。毎月10日の地域安全の日に合わせて、富久山交番勤務員や富久山行政センター職員とともに防犯パトロールを実施し、なりすまし詐欺被害防止、交通事故防止の呼びかけを行い、地区住民の防犯意識の高揚と犯罪被害防止に貢献しています。

令和5年 地域安全作文コンクール 審査結果

「令和5年地域安全作文コンクール」の審査が行われ、入選作品が決定しました。入選者には、警察署を通じて福島県防犯協会連合会長表彰が授与されました。今年応募数は、小学生98点、中学生477点 計575点と昨年を上回る応募数で、防犯意識の広がりが実感されるコンクールとなりました。なお、最優秀作品は、次頁に掲載するとともに、福島県防犯協会連合会のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

小学生の部 入選者

(敬称略)

最優秀	わたしの町の防はんパトロール	後藤 優衣 (須賀川市立第一小学校3年)
優秀	あいさつの力	引地 駿輔 (伊達市立掛田小学校4年)
優秀	見守り活動に感しゃ	猪狩 歩生 (伊達市立伊達小学校3年)
佳作	毎朝おはよう、ありがとう	穴戸 悠真 (伊達市立伊達小学校5年)
佳作	スマホを安全に使うために	比佐野 彩 (伊達市立伊達小学校5年)

中学生の部 入選者

(敬称略)

最優秀	地域の安全とは	鈴木 怜 (いわき市立平第一中学校1年)
優秀	花を植えること	齋藤 紬生 (二本松市立二本松第三中学校1年)
優秀	あったかい町づくり	渡部 ふう (郡山ザベリオ学園中学校2年)
佳作	私の地域の安全 ざんが	蓮沼さくら (川俣町立川俣中学校3年)
佳作	地域の目	田村 智瑠 (いわき市立平第一中学校1年)

「福島県自転車防犯登録推進協会」からのお願い

必ずしましょう!! 自転車防犯登録

自転車防犯登録は、法律で義務づけられています。自転車防犯登録は、自転車盗難被害の防止とともに、被害回復に役立ちます。

購入や譲り受けた際は新規防犯登録を、廃棄や人に譲った際は抹消登録をしましょう。

手続きの詳細は、福島県防犯協会連合会のホームページをご覧ください。



賛助会員募集中

公益社団法人 福島県防犯協会連合会では、より充実した活動を行うため、賛助会員を募集しています。

寄附金や賛助会費は、税制上の優遇措置を受けることができます。皆様のご協力をお願いいたします。入会手続きの詳細は、当連合会のホームページ (<https://www.bouhanfukushima.com>) をご覧ください。

賛助会員証



最優秀作品 (小学生の部)

わたしの町の防はんパトロール

須賀川市立第一小学校3年 後藤 優衣

わたしの町では、防はんパトロールを、毎週土曜日に行っています。町内の組長さん、やくいんさん、いくせいかいの方が協力してこうたいで行っています。わたしのお父さんは、やくいんさんで、お母さんは、いくせいかいをやっているのだから当番が回ってきます。お父さんかお母さんが当番の時はわたしもいっしょにさん加しています。どうゆうことをするかというと、当番の人と町中を決まった地図のとおり、歩いていきます。

「どんなことをチェックしているの?」と、お父さんに聞いたら、

「あやしい人、あやしい車、きけんな場所、いつもとちがうことがないかを見ているんだよ」と教えてくれました。

わたしもさん加してみても、まいごにならないかと、ふあんになってしまったけど、お父さんがまいごにならないように、手をつないでくれました。なので、

安心しました。

気がついたことが、一つあります。なにかということ、この町はあやしい人、あやしい車がないということです。わたしはあやしい人がいなくてよかったです。わたしは防はんパトロールの、いいところは、この町のみんなのためになる所です。なぜかということ、あやしい人や、車は、事こや、じけんのげんいんになってしまうからです。なので、毎週のパトロールのおかげで安心して住むことのできる町になっているんだと思いました。防はんパトロールっていいなと思い、この町に生まれてよかったなと思いました。

さいしょは大人の人たちについていだけだったけれど、これからは自分の目できけんがないか、パトロールできるようになりたいと思います。これからもがんばります。

最優秀作品 (中学生の部)

地域の安全とは

いわき市立平第一中学校1年 鈴木 怜

私の家の隣りに住む根本さんは、とてもパワフルだ。声がとにかく大きい。そして明るい。年は八十歳。一人暮らし。私と妹は、この夏休み期間中ずっと、根本さんが自宅の庭で育てているトマトやナスをいただけることを楽しみにしていた。

「隣の根本ですー」

という声が聞こえると、何をしても走って玄関先へ向かう。ナイロン袋に入った真っ赤のトマトを受け取ると、私と妹は笑顔でお礼を言う。根本さんも口を大きく開けて笑う。そこで、私の母は根本さんに夕飯のおかずを手渡すのだ。根本さんの夕飯は六時と早いので、常におかずができてあがっているわけではない。その時は、私や妹を連れて行き、話をし、六時に間に合うように帰ってくる。それが日課になっている。母なりの工夫で、いただいたナスのみそ炊め、肉じゃが、すき焼き、天ぷらなど、一人暮らしの根本さんが作れないだろうやわらかめのおかずが並ぶ。時には、家族のことより根本さんのことを考えて夕食作りをするくらいだ。

実は、そのようなやり取りはずっと前からではないのだ。令和元年の東日本台風で、夏井川が決壊し、私の家の一階部分も根本さんの平屋の家も大雨の被害に遭った。私達が朝起きた時には目の前の風景が一変していた。根本さんは、増水した時には外の扉がすでに開かず、屋根板を頭で壊して一夜を過ごしたのだそうだ。そしてこれ以上増水したら死ぬ

かもしれないとまで考えたそうだ。その話を根本さんから聞いた時、私も家族も心を傷めた。何かできることはなかったのかと思う毎日だった。急な増水で他を気にする余裕はなかったとは言え、増水前に根本さんを家に呼び入れる声掛けができたのではないかと反省が残る。そして、その声掛けは非常時にだけではなく日頃からの声掛けから始まるものだと気付いた。

そのような体験から、根本さんと私達の交流が続いている。お互いに目になってあげる事、他愛のない会話から、近所どうしの安全となり、その延長線上に私達が住む地域の安全につながっていくのではないだろうか。

根本さんは今日も、小学生の登校班の見守りを毎日続けている。小学生よりも大きな声で「おはよう」と言う姿は、カッコ良いのだ。大きな声であいさつし合える平窪の地域に悪い人はいないと信じたい。私も、学校では規律委員としてあいさつ運動を行っているが、さらに目的意識を持って取り組めたら良いと思う。根本さんのように、私も地域を守る一員でありたいと思う。そして、あいさつを通して安全な地域づくりにつなげていきたい。私がまず、行動を起こせば、みんなが当たり前になり、犯罪を防ぐことができたらいいな、と思う。犯罪を起こす人が恥ずかしいと思うような平窪にしたい。